

伊勢原市「アレルギー教室」

「聞いておきたい食物アレルギーの知識」

10月31日(金) 10:00~12:00

伊勢原シティプラザ 1F ふれあいホール 無料
(小田急小田原線「伊勢原駅」北口下車 徒歩8分)

- 講師 ■高増哲也先生(神奈川県立こども医療センターアレルギー科医長)
- 申込み ■伊勢原市役所子育て支援課 Tel:0463-94-4711

横浜市西区役所

「子どものアレルギー講演会」

11月7日(金) 13:30~15:00 無料

横浜市西区役所 3階 AB 会議室
(京急「戸部駅」徒歩8分・相鉄「平沼橋駅」徒歩10分)

- 講師 ■栗原和幸先生(神奈川県立こども医療センターアレルギー科部長)
- 保育 ■2歳以上の未就学児先着15人。予約制。
- 申込み ■30人まで。電話・FAXで、氏名・住所・電話番号・託児の有無・手話通訳の必要の有無を連絡。こども家庭支援担当 Tel:045-320-8467 045-290-3422

横浜市鶴見区役所

「専門医による乳幼児のアトピー性皮膚炎講座」

11月11日(火) 14:00~15:30

横浜市鶴見区役所 1階①予防接種室 無料
(JR・京急「鶴見駅」徒歩7分)

- 講師 ■栗原和幸先生(神奈川県立こども医療センターアレルギー科部長)
- 保育 ■保育あり。6ヶ月未満は同室で
- 申込み ■電話またはFAXで先着40人まで。行事名、氏名(ふりがな)、住所、電話番号と保育の有無を連絡。こども家庭支援担当 Tel:045-510-1850 FAX:045-510-1887

横浜市港北区役所「子どものアレルギー講座」

「アトピー性皮膚炎の治療とスキンケアについて」

11月21日(金) 10:00~11:30

横浜市港北区役所 予防接種室 無料
(東横線「大倉山駅」より 徒歩約7分)

- 講師 ■高増哲也先生(県立こども医療センターアレルギー科医長)
- 保育 ■1歳以上の未就学児、25人(要予約)
- 申込み ■11月4日(火)から電話で。アトピー性皮膚炎の疑いのある子の保護者、先着40人。港北区役所こども家庭支援担当 TEL:045-540-2340 FAX:045-540-2396



知ってスツキリ！セミナー情報 神奈川県

第45回日本小児アレルギー学会「市民公開講座」

「患者のためのアレルギー教室」

12月13日(土) 13:30~17:00

パシフィコ横浜 会議センター4階 無料
(横浜市内西区みなとみらい1-1-1「みなとみらい駅」徒歩3分)

- ①「小学生でもわかる子どものためのぜんそく教室」
13:30~14:30 益子育代先生(群馬県立県民健康科学大学看護学部・国立成育医療センターアレルギー科)

- ②「小学生でもわかる子どものためのアトピー性ひびえん教室」
14:45~15:45 益子育代先生

- ③「食物アレルギーのQandA」
15:45~17:00 田知本寛先生
(東京慈恵会医科大学附属第三病院小児科)



- 申込み ■①②③とも参観・参加は自由、直接会場へ。但し、①②の教室では教材を使った授業の生徒を11/20まで募集。生徒の対象は小学3~4年生各10名まで。詳しくはホームページで。

- 問い合わせ ■第45回日本小児アレルギー学会 運営事務局 (株)サンプラネット メディカルコンベンション事業本部 TEL:03-5940-2610 FAX:03-3942-6396 E-mail:jspaci45@nch.go.jp http://jspaci45.umin.jp/

(財)日本学校保健会「市民公開講座」

「よくわかるアトピー性皮膚炎」

～治療の主役はあなたです～

【横浜会場】2009年1月18日(日) 無料

14:00~16:00 ワークピア横浜

(横浜市中区・JR根岸線「石川町駅」北口徒歩13分。みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口徒歩2分)

- ①「アトピー性皮膚炎の病態・治療についての講演」江藤隆史先生(東京通信病院 皮膚科部長) / 大矢幸弘先生(国立成育医療センター第一専門診療部アレルギー科医長)

- ②シンポジウム「学校におけるアレルギー疾患対策」西間三馨先生(国立病院機構福岡病院院長、日本アレルギー学会理事長) / 江藤隆史先生 / 大矢幸弘先生 / 内藤昭三先生(日本学校保健会専務理事)

- 申込み ■学校保健ポータルサイトの【お知らせ】より右記ページで <http://www.atopy-symposium.com/>
- 事務局連絡先 ■エムシークリエイト(株)内「市民公開講座 よくわかるアトピー性皮膚炎」事務局 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 3-1-15 藤野ビル 2F 電話:03-3660-5731 FAX:03-3660-5730 お問合せ受付時間:平日午前9時~午後6時



神奈川県内68校78人が「エピペン」*携帯

該当校管理職ら研修会開催へ 神奈川県教育委員会

今年4月、「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」(日本学校保健会発行、文部科学省監修)が、公立の小中高校に配布され、緊急時の教職員による「エピペン」注射が可能になったが、学校現場での対応は全国的に遅れているのが現状。

県教育委員会では今年7月、県内すべての公立学校に「エピペン」の使用手順や

留意点を記した文書を通知、常時携帯している児童・生徒の調査を行い、11月中旬に研修会を開催することになった。

調査結果は小学校42校51人をはじめ、県内68校78人と「予想以上の人数」(県教委)だったという。

*「エピペン」:食物アレルギーの急激なショック症状、「アナフィラキシー」救命用自己注射。

患者交流会

ちやつとchatの会

かながわ県民センター15F 相談室①
(横浜駅西口徒歩5分)

■来所相談 ■毎月第4火曜日
10:00~12:30

■FAX相談 ■045-312-6307(相談室)

■問い合わせ ■Tel:045-312-1121
内線 3501